3　入札書及び企画提案書類の提出場所等
⑴　入札書及び企画提案書類の提出場所、契約条項を示す場所、入札説明書の交付場所及び参加資格等問い合わせ先　〒105―0003 東京都港区西新橋１－１－１　日本中央競馬会本部　法務部契約室　ＴＥＬ03―3591―5251　E-mail：keiyaku-qa@jra.go.jp
⑵　入札説明書の交付方法　次号の入札説明会において、会場にて配付する。
⑶　入札説明会日時及び会場　令和４年５月19日10時30分　日本中央競馬会本部４階403会議室
⑷　入札、開札及び企画提案書類提出の日時　令和４年６月17日10時30分　日本中央競馬会本部４階402会議室
4　その他
⑴　契約手続において使用する言語及び通貨　日本語及び日本国通貨
⑵　入札保証金及び契約保証金　免除
⑶　入札の無効　本公告に示した入札参加資格を持たない者の行った入札、及び入札に関する条件に違反した入札は無効とする。また、落札者が落札決定から契約締結までの期間に競争入札参加停止措置を受けた場合は、本入札に関する一切を無効とする。
⑷　契約書作成の要否　要
⑸　落札者の決定方法　入札説明書による。
⑹　本入札に参加する者は予め「日本中央競馬会物品等入札心得」を熟覧し、承諾したうえで入札しなければならない。
5　Summary
⑴　Official in charge of contract : Tetsuya Ito, General Manager, Contract and Procurement Division, Legal Affairs Department of Japan Racing Association.
⑵　Classification of the products to be procured : 71
⑶　Nature and Quantity of the services to be required : Comprehensive test for proof of face recognition technology by using advanced video camera.
⑷　Qualifications for the participating in the tendering procedures : A, B, C, D
⑸　Time limit of tender : By 10 : 30　17th June 2022.
⑹　Contact point for the notice : Contract and Procurement Division, Legal Affairs Department of Japan Racing Association, 1―1―1 Nishishimbashi, Minato-ku, Tokyo 105―0003 Japan Tel 03―3591―5251　E-mail : keiyaku-qa@jra.go.jp

入札公告（建設工事）

次のとおり一般競争入札に付します。
本入札公告に記載の工事は、技術資料を共通化できる３件の工事を対象に、一括して公告し、審査を実施する試行工事である。
本件の入札にあたっては、電子入札システムにおいて３件の工事が別々に案件登録されているので、複数の工事に参加を希望する場合は、参加を希望する工事毎に申請書の提出及び入札が必要である。
令和４年４月28日
支出負担行為担当官
中部地方整備局長　堀田　　治
◎調達機関番号　020　◎所在地番号　23
○第１号
1　工事概要
⑴　品目分類番号　41
⑵　工事名
①　令和４年度　１号清水立体清水ＩＣ第３高架橋鋼上部工事（電子入札対象案件）（電子契約対象案件）
②　令和４年度　１号清水立体庵原高架橋鋼上部工事（電子入札対象案件）（電子契約対象案件）
③　令和４年度　瑞浪恵那道路瑞浪１号橋鋼上部工事（電子入札対象案件）（電子契約対象案件）
⑶　工事場所
①　静岡県静岡市清水区八坂町～八坂北
②　静岡県静岡市清水区庵原町
③　岐阜県瑞浪市土岐町鶴城～下沢
⑷　工事内容
①　工事延長　Ｌ＝320m、鋼５径間連続非合成箱桁橋（橋長　Ｌ＝275.0m）、工場製作工　１式、工場製品輸送工　１式、鋼橋架設工（トラッククレーン架設、多軸式特殊台車横取・降下【Ｐ26～Ｐ27】）　１式、現場塗装工　１式、橋梁付属物工　１式、仮設工　１式
②　工事延長　Ｌ＝440m、鋼６径間連続非合成箱桁橋（橋長　Ｌ＝332.5m）、工場製作工　１式、工場製品輸送工　１式、鋼橋架設工（トラッククレーン架設、多軸式特殊台車架設【Ｐ14～Ｐ15】）　１式、現場塗装工　１式、橋梁付属物工　１式、仮設工　１式
③　工事延長　Ｌ＝300m、鋼５径間連続非合成箱桁橋（橋長　Ｌ＝262.0m）、工場製作工　１式、工場製品輸送工　１式、鋼橋架設工（トラッククレーン架設【Ｐ１～Ｐ２間除く】）　１式、現場塗装工　１式、橋梁付属物工　１式、仮設工　１式
⑸　全体工期
①　契約締結日の翌日から令和６年10月31日まで
②　契約締結日の翌日から令和７年１月31日まで
③　契約締結日の翌日から令和７年２月28日まで（但し、①～③令和４年11月４日までに工事の始期を設定すること）
工事を施工しない日　　設計図書のとおり
工事を施工しない時間帯　設計図書のとおり
本工事は、受注者が全体工期内で工事の始期及び終期を任意に設定することができるフレックス工期を採用した工事である。
工事の始期までの余裕期間内は、監理技術者等を配置することを要しない。また、現場に搬入しない資材等の準備を行うことができるが、資材の搬入や仮設物の設置等、工事の着手を行ってはならない。なお、余裕期間内に行う準備は受注者の責により行うものとする。
⑹　使用する主要な資機材
①　鋼材　約1,320ｔ
②　鋼材　約1,280ｔ
③　鋼材　約780ｔ
⑺　本工事は、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（平成12年法律第104号）に基づき、分別解体等及び特定建設資材廃棄物の再資源化等の実施が義務付けられた工事である。
⑻　本工事は、価格以外の要素と価格を総合的に評価して落札者を決定する総合評価落札方式のうち、企業・技術者の能力等、品質確保のための体制、その他の施工体制の確保状況を確認し、施工内容を確実に実現できるかどうかについて審査し、評価を行う施工体制確認型総合評価落札方式（技術提案評価型Ｓ型）の試行工事である。
なお、上記取り組みの詳細については、国土交通省中部地方整備局　ホームページアドレス：https://www.cbr.mlit.go.jp/「整備局トップ」―「入札・契約情報」―「工事」―「総合評価運用ガイドライン等（工事関係）」に記載されているとおりである。
⑼　本工事は、契約締結後に施工方法等の提案を受け付ける契約後ＶＥ方式の対象工事である。
⑽　本工事は、入札書及び技術提案書等の同時提出を行う工事である。
⑾　本工事は、賃上げを実施する企業に対して総合評価における加点を行う工事である。
⑿　本工事は、施工手順の工夫等の創意工夫による生産性向上の取り組みを推進する「生産性向上チャレンジ」の試行対象工事である。
⒀　本工事は、完全週休２日を確保した施工を実施する試行の対象工事である。完全週休２日を確保出来た場合に工事成績評定点において評価する。
また、本工事の完成時に、完全週休２日取組認定証が発行された場合、中部地方整備局で発注される総合評価の評価項目において加点対象とする工事である。
なお、完全週休２日取組認定証は、対象期間中の全週間数に対して、休日対象日を現場閉所とした週間数の割合が70％を超えた場合に発行する。
また、提出された工程表が週休２日の取得を前提としていないなど、明らかに、受注者側に週休２日に取り組む姿勢が見られなかった場合については、内容に応じて、工事成績評定実施要領の別紙様式第１における考査項目「７　法令遵守等」の「８　その他」の項目において、点数を減ずる措置を行うものとする。
⒁　本工事は、熱中症対策に資する現場管理費の補正を行う試行工事である。